

1. Input クラスを使う準備

JShell で Input クラスのメソッドを使う準備

JShell では、クラスパスの指定と、インポート文を手動で実行する必要があります。
Eclipseとは異なるjarファイルを使います。使用する文字コードが違います。

①まず、クラスパスを、/env コマンドで指定します。

```
jshell> /env --class-path c:¥java¥jp.kwebs.lib.jar
```

下線部分は jar ファイルを指定しています。ファイルパスを正確に記述します。MacOS では、/users/myhome/java/jp.kwebs.lib.jar のように、¥ではなく/で区切ります。

例示のファイルパスは見本です。自分の PC で、実際に jar ファイルのある場所へのパスを指定してください。

②次に、インポート文を入力します。

```
jshell> import jp.kwebs.lib.Input;
```

以上で、Input.getDouble() などを使えるようになります。

準備に手間がかかります。プログラムを書いた方が簡単なのですが、JShell でのインポートの仕方を覚えるためにやってみましょう（2.9 節以降ではプログラムで使います）。

2. Input クラスの機能を試す

getInt(), getString(), getBoolean() メソッドを実行してみます。入力プロンプトには適当な値を入力してください。

リスト 2-8-2 : getInt(), getString(), getBoolean()

```
jshell> Input.getInt()
int>100
$2 ==> 100

jshell> Input.getString()
String> こんにちは
$3 ==> " こんにちは "
```

```
jshell> Input.getBoolean()
boolean>true
$4 ==> true
```

見やすいように、アンダーバー() やコンマ(,) を区切り文字として入力できます。